

Kyoto Building Maintenance Association News No.64

公益社団法人 京都ビルメンニュース 第64号

発行日/2014年1月1日 発行所/公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会



● 新年のごあいさつ

● 2014年 京都ビルメンテナンス協会 新年賀詞交歓会開催

● 第18回ビルメンテナンス青年部 全国大会 in 四国 「高松大会」

CLEAN CREW



京都の力は人、人の交流で 京都の元気を創り出そう

京都府知事 山田 啓二

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年を振り返って

昨年は、台風第18号や福知山花火大会での事故、通学児童を巻き込む交通事故など、府民の生命・財産を脅かす災害や事故が相次いだ年でした。改めて亡くなられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害を受けられた皆さまにお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧のために、府は、国・市町村とともに全力を挙げて取り組んでまいります。

一方で、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、和食のユネスコ無形文化遺産への登録など、日本の良さが世界に認められるとともに、国内の景気や雇用情勢に明るい兆しが見えてきた年でした。また、府内でも、犯罪件数の減少や有効求人倍率の改善、学力テストの着実な進歩など、さまざまな分野で明るい話題もありました。今年是这样した希望を、オール京都の取り組みでさらに実感できるものに変えていく年にしたいと思います。

人こそ京都の力

そのためにも、京都の未来像を明確に

して、府民の皆さまと力を合わせて進んでいきたいと思っております。京都は、北は京丹後市から南は南山城村まで、豊かな自然の恵みと歴史と伝統の積み重ねの中で共生を基調とする日本文化を育み、多くの産業を興してきました。首都は東京に移りましたが、文化や伝統や職人のところまで移ったわけではありません。今も京都は、日本最高の文化と優れた技術力を受け継ぎ、多数の大学から有為な人材を送り出し続けています。人こそ京都の力です。人が育ち、集まり、交流することこそ、京都の未来を輝かせるものです。

京都の元気は交流から

京都縦貫自動車道は来年いよいよ全線開通し、平成28年度には京丹後市まで延びて京都の南北軸が完成します。京都舞鶴港には外航クルーズ船の寄港も増え、新名神高速道路の着工凍結も解除され、さらにJR奈良線の複線化も進めます。

この新しい交流基盤の上、「海の京都」をはじめ京都の魅力を生かした観光振興、旧「私のしごと館」を活用したオープンイノベーション拠点をはじめとする国際的な研究開発、東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせた日本文化の祭典や2021



年の生涯スポーツの国際大会「ワールドマスタースターズゲームズ」の開催など、国内外の人の交流、産業や文化の交流を進め、和食や宇治茶、日本酒、京野菜を日本全国に世界に発信しながら、京都の元気を創っていきたく考えています。

人のこころを原動力に

交流によって人を育て、新しい文化、技術、産業が生み出される京都には、日本人のこころや生き方、伝統や文化を学ぶために、世界中からさまざまな人が訪れます。そして、その中から創り出される「人」に対する思いやり、「環境」に対する優しさなど、世界の人々に共通する「こころ」が、これからの少子高齢化やグローバル化など、私たちを取り巻く多くの課題を解決する原動力になると信じています。一緒に、次世代の子供たちが誇れる京都をつくりましょう。

この一年の、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

2014年 京都ビルメンテナンス協会 新年賀詞交歓会開催

☆ 50周年の年を迎える年賀式 ☆

1月10日(金) リーガロイヤルホテル京都

新年を迎え、1月10日(金)、リーガロイヤルホテル京都において新年賀詞交歓会が開催され、ご来賓はじめ、会員企業様より180名余のご参加をいただきました。

開宴に先立ちまして、花田会長より年頭の挨拶があり「本日は、伊吹衆議院議長、山田知事、門川市長はじめ、多くのご来賓にお越しいただき厚く御礼申し上げます。昨年、会長に就任させていただき、大変な年ではありましたが、ヒューマンフェアでの南部選手の全国3位受賞、又、アビリンピック全国大会での池野選手銀賞受賞など、協会事業の努力が結果に結び付くという、大きな喜びを頂いた年でもありました。本年は、当協会が50周年を迎える節目の年であり、この50周年を皆様と共

に祝いたいと思っておりますので、今後とも、協会員の皆様のご多大なるご協力をお願いいたします」と述べられました。

(御来賓のご祝辞)

山田知事さまより、京都協会との「災害協定締結」に対するお礼の言葉、門川市長さまより、美しい街としてのお出迎えが最高の「おもてなし」ですとのお話、西田京都労働局長代理さまより、「女性が働きやすい職場環境づくり」について、夫々、ご祝辞と共に言葉いただきました。

そして、伊吹先生より、「昨年は、アベノミクスによる景気の回復という雰囲気を感じただけの年であり、今年は、景気の回復を実感できる年にしなければなりません」とのお話を聞かせていただきました。



続いて、梶山近畿地区本部長のご発声により、日本酒で乾杯が行われ、懇親の場になりました。

賀詞交歓会の言葉通り、名刺交換を交えながら、皆さん「おめでとうございます」のオンパレードで親交を温めておられました。

宴もたけなわのなか、渡守副会長によるご挨拶と一本締めにて、新年賀詞交歓会は盛会の内に散会いたしました。

あらゆる京都の強みを結集し、 未来へと力強く駆ける年に！

京都市長 門川 大作

あけましておめでとうございます。

皆様にとりまして、この一年が喜びの多い年となりますことをお祈り申し上げます。

さて、この度「和食」がユネスコ無形文化遺産に。また、世界的な生涯スポーツの祭典「ワールドマスターズゲームズ」の京都を含めた関西開催(2021年)、東京でのオリンピック・パラリンピック開催と、今、日本が世界から注目を浴びています。

いずれも、京都に伝わる日本文化を発信する絶好の機会。一躍話題になった「おもてなし」の心をはじめ日本の精神文化や、京都の豊かな食文化、さらには景観、芸術、学問、ものづくり…多彩な魅力を市民の皆様と共に国内外へ発信してまいります。

そして、そうした京都の魅力、強みは、それらを支えておられる市民の皆様素晴らしい「地域力」「人間力」あつてのもの。

の。4,500箇所以上の市民活動の場、市政の最前線を訪れる中、私は肌でそのことを実感しています。

特に昨年9月、大きな被害をもたらした台風18号の折、防災・減災、復旧に懸命に取り組まれる多くの皆様のお姿にその力を改めて感じ、感謝しております。

「自分たちのまちは自分たちで守る」。そんな熱意に満ちた市民の皆様のご活動に力をいただきながら、私も全庁挙げての行財政改革に全力投球。職員数もこれまでに16,150人から13,580人に削減するなど、厳しい財政状況が続く中、「民間でできることは民間で」を基本に、着実かつ大胆に推進しています。

財政はなお厳しく、楽観視はできません。加えて、環境や福祉、雇用、教育、災害を教訓にした安心安全のまちづくりな



ど課題も山積んでいます。リニア新幹線の京都駅ルートや双京構想をはじめ、目指す目標も多彩です。しかし、市民の皆様と共にあらゆる京都の強みを一層磨き高め、それらを結集し、果敢に挑戦を重ねれば、いかなる困難も乗り越えることができる。私はそう確信しています。

「馬」に「区」と書いて「駆ける」。午年の本年も、引き続き「奔馬」の勢いで市内全区をくまなく「駆け回り」、市民の皆様と語り合い、現場を直視し、明るい未来へ向けて政策を更に深化させてまいりたい決意です。

本年もよろしくお祈り申し上げます。

「ビルメンヒューマンフェア'13」開催

平成25年10月30日(水)・31日(木) さいたまスーパーアリーナ

2年に一度の祭典「ビルメンヒューマンフェア'13」が昨年10月30日(水)・31日(木)の2日間、さいたまスーパーアリーナにて開催されました。

京都協会からは、矢口名誉会長・花田会長はじめ多くの理事・役員並びに関係者が現地を訪れ、展示会場での情報収集、セミナーへの参加、競技会での応援等、夫々がフェアを楽しんでおられました。

展示会場では、協会員の近建ビル管理さんをはじめ、賛助会員各社が出展され、協会員はもとより、多くの来場者で賑わっており、熱心に商品説明をしておられました。

競技会場では、先ず、30日に行われた、

アビリンピック(全国障害者技能競技会)2012長野大会の入賞者3名による模範演技に、当協会から、奥野選手(12金賞受賞者)が参加しましたが、他の2選手をはるかに圧倒する実技内容で、フェア関係者、実技見学者から盛大な賛辞の拍手を頂き、本人はもちろんのこと、実技指導にあたってこられた公益事業委員会の人達も、大変喜んでおられました。

31日のメインは、何と言っても「第13回全国ビルクリーニング技能競技会」で、全国のビルクリーニング技能士5万人を代表して、9地区から選出された18名により「ビルクリ最強王者決定戦」として行われました。

京都協会からは、南部翼選手(中信興産)が出場され、中信興産の甲斐社長をはじめ、協会関係者20名による応援団で、20分間声援を送り続けました。

南部選手の実技は、見ている者を魅了する、まさしく見せる実技でとても素晴らしい出来栄でした。そして、見事に、全国3位「厚生労働省職業能力開発局長賞」を受賞さ



れました。この結果に、南部選手は誇らしげに喜ばれ、関係者は心から喜んでおられました。本当におめでとうございます。

表彰式終了後、閉会式が行われ、一戸全国協会会長から「2日間、多くの方にご来場頂き、フェアが成功裏に終えることが出来たことを感謝いたします。そして、全国の会員になりかわり、フェアの準備から運営に携わっていただいた関係各位のご努力にご協力に対し、厚く御礼申し上げます。2年後、北海道でお目にかかれることを楽しみに、閉会の挨拶とさせていただきます」と述べられ、2日間のお祭りは終了しました。



新年のご挨拶

公益社団法人
京都ビルメンテナンス協会 会長 **花田之宏**



です。
年頭にあたり、協会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、本年も格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また平素は、協会運営にあたり格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、わが国の経済は、緩やかな回復を続けているといわれておりますが、わが業界を取り巻く環境は依然として厳しい状態にあり、景気回復に伴い人手不足が深刻化する懸念があります。

また本年4月には消費税増税が控えており、資機材費や協力業者への支払い等作業原価の増加に対して、お客様に値上げをお願いしにくいという状況にあります。業界をあげてお客様に価格改定をご理解いただけるように、協会といたしましても努力していく所存です。

本年は、当協会の創立50周年にあたり、5月21日にはホテルグランピアにおきまして、記念式典・祝賀会を予定しております。この件に関しましても、協会員の皆様の多大なるご協力をお願いする次第

平成25年度「京都ビルメンテナンス業安全衛生大会」開催

平成25年10月8日(火) 13:30~17:00 京都テルサ大ホール



平成25年10月8日(火)京都ビルメンテナンス業安全衛生大会が「京都テルサ大ホール」にて開催されました。

職場の安全と健康を守ることをテーマに毎年行われている大会に、協会員の従業員の皆様並びに、協会員以外の方も含め、170名がご参加くださいました。

花田会長の開会挨拶で幕を開け、京都労働局 健康安全課 西田課長様による「安全衛生行政の課題と対策」、京都府警本部 交通部 交通企画課桂警部様による「交通事故防止を考える」の特別講習が行われました。

「安全衛生行政の課題と対策」の講習では、過去の推移を記載したグラフやDVDを観ながら説明して頂きました。特に、ビ

ルメンテナンス業では女性の労働災害が増加傾向にあることや、経験年数が10年以上の方が多くと報告がありました。

また、「交通事故防止を考える」と題した講習においては、交通事故の発生数は減少しても、死者数については下がらない状況にある事、高齢者の事故率の高さ(全体の1/4)や家の近所での発生率が高いとの説明がありました。

労働災害、交通事故の防止については、日ごろから慣れているから大丈夫ではなく、危ないかもしれないという意識を持つ事が大切だと再認識しました。

そして、特別講演、ミヤ蝶美・蝶子お二人の漫才「男女しなやかなのススメ」で大いに盛り上がりました。

講演終了後、労働安全衛生標語優秀作品に選出された3名の方々(近建ビル管理(株)間宮良治さん、中信興産(株)竹内温子さん、双葉メンテナンス工業(株)楠橋明美さん)に対し、花田会長より表彰状が授与されました。

最後に、安全衛生委員会担当山本副会長より「労働災害発生システム」のお願いと、安全宣言の唱和、閉会の挨拶にて閉会しました。そして、恒例の抽選会が行われ、全日程が終了いたしました。

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 第30回(平成25年度)労働安全衛生標語入選作品 佳作

「安全はこころと時間のゆとりから 焦らず慌てず まず確認」

安田史郎 様(太平ビルサービス(株) 京都支店)

「世界の京都・まちの美化市民総行動」

平成25年11月4日(月・祝) 10:00~12:00 京都市役所前広場



昨年、11月4日(月・祝)~楽しくきれいを広げよう~をスローガンに「京都・まち美化大作戦」と称して、まちの美化市民総行動が行われ、公益社団法人京都ビルメンテナンス協会から渡守副会長をはじめ、吉川事務局長、青年部14名が参加いたしました。

参加人数、総勢178団体3,700名を超える市民や事業者が京都市役所前広場に集まり、午前10時30分から開会セレモニーが行われた後、「私たちが暮らす京都の

町を、ごみ一つない、もっときれいな街にしたい」というスローガンのもと、国際交流会館をはじめとした「街頭啓発」箇所までパレードが行われ、啓発物品の配布など、美化活動に少しでもお役にたてればとの思いでパレードに参加してまいりました。

総行動に参加させていただき、豊かな自然あふれる京都のまちを、次の世代に引き継ぐため、環境にやさしいまちづくりに向けて、更なる一歩が踏み出せたのではないかと考えております。

今回の参加により、公益社団法人京都ビルメンテナンス協会並びに、ビルメン業界のPRに少しは役に立てたのではと思います、又、ビルメン業界の重要性、社会的貢献など、身をもって感じた気がします。

これからも美しい街を目指して活動してまいりたいと思っておりますので、会員の皆様には、今後とも、ご支援の程よろしく願ひいたします。 記事：青年部会

「防除作業従事者研修会」開催

平成25年11月6日(水) 京都府中小企業会館709号会議室



した。

17時20分、9時からの長い研修会が終了いたしました。受講生の皆さん一日お疲れ様でした。

平成25年11月6日(水)、「防除作業従事者研修会」が、京都協会・滋賀協会・奈良協会の3協会主催にて、受講者15名を迎え開催されました。

この研修会は、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく、建築物ねずみ昆虫等防除作業の登録要件として定められた研修であり、防除作業の質

の向上と安全施工を目指して、毎年行われております。

講師として、京都府・京都市の行政からもご協力をいただいております。

研修科目は、法律に始まり、昆虫等の生態や殺虫剤の種類、防除作業の安全に関すること等、多岐に渡っており、受講生の皆さんも真剣に講義を聞いておられま

【研修科目】	【講師】
建築物の環境衛生行政	辻 直樹氏 (京都府健康福祉部生活衛生課)
ダニの生態と防除	池永 充宏氏 (京都市衛生環境研究所)
殺虫剤の種類と仕様方法	渡邊 真規氏 (滋賀協会)
防除作業の安全管理	渡邊 真規氏 (滋賀協会)
蚊の生態と防除	益田 昇氏 (奈良協会)
ハエ・コバエの生態と防除	益田 昇氏 (奈良協会)
建築構造や設備とネズミ・昆虫等	玉川 隆司氏 (京都協会)
防除作業従事者の責任と任務	森 貞文氏 (京都協会)

第18回ビルメンテナンス青年部 全国大会in四国「高松大会」

テーマ：進化するコミュニティビジネス<生き残りをかけた地域密着のビルメン企業>

平成25年11月13日(水) 高松国際ホテル 14日(木) 高松観光



でした。

夕刻より懇親会が開催され、北海道・神奈川・島根・徳島・福岡・鹿児島各部会員と会食をしながら意見交換をしました。

翌日は、朝から瀬戸内海国立公園屋島、栗林公園、高松市内等を回る「観光エクスカーション」に参加し、屋島への山頂登山、香川県名産の讃岐うどん、骨付き地鶏、あんもち雑煮など、珍しい昼食を取らせていただき、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

(参加者)

渡守副会長・平井部会長・津田副会長、川向副会長・吉川委員・森委員・岩波委員 計7名

平成25年11月13日(水)・14日(木)の2日間、第18回ビルメンテナンス青年部全国大会が四国高松において開催されました。

まず、高松国際ホテルにて、全国から182名が参加の中、全国部会長会議が行われました。主に、会員企業が若い世代の人材を出してくれず、青年部の意見が少ないという悩みがあるとの意見が出されました。

大会式典では、吉田部会長(徳島県)の開会宣言により開会され、全国ビルメンテナンス協会の一戸会長をはじめ来賓の



方々からの祝辞がありました。

最後に、次回開催地の北海道 白井部会長が挨拶をされ、愛媛会長の八百城様のご挨拶により閉会となりました。

式典後は、記念講演が行われ、第一部では山崎 亮先生が「地域コミュニティビジネスについて」というテーマで講演され、第二部では「高松丸亀町商店街のまちづくり戦略について」というテーマで古川 康造先生が講演されました。

講演終了後、両先生に加え新谷実行委員長により、今回のテーマである「進化

するコミュニティビジネス」をテーマとしたクロストークが催され、現状の問題点と将来の展望などが議論されました。特に日本全国において人口が減少し、市場が限定されていく中、企業が生き残っていくには、如何にすれば良いのか…これまでの固定概念を捨て、新たな提案戦略を打ち出し、時代に即応していかなければ生き残りは難しい…といった議論は、今後の経営に大変参考になる内容

※KBMAニュースNo.63号 表紙の「平成25年度 労働安全衛生標語 京都協会作品」に誤りがございました。

誤り⇒関宮 良治 近畿ビル管理(株) 正しくは⇒関宮 良治 近建ビル管理(株)です。大変失礼しました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

3大会連続の受賞! 「銀賞おめでとう」 京都代表 池野 哲平さん!!

平成25年11月22日(金)～24日(日) 千葉県海浜幕張ホール



ました。

そして、京都代表の池野哲平さん(19才)さんが見事、銀賞を受賞されました。本当におめでとうございます。

今後とも、京都協会は、アビリンピック全国大会に、47都道府県すべてから選手が出場されることを強く願って参加して参りますので、関係各位のご支援と、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

平成25年11月22日～24日の3日間、千葉県海浜幕張ホールにて独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構主催による第34回全国障害者技能競技大会(アビリンピック全国大会)が開催されました。

ここ2年、ビルクリーニング競技種目において、銅賞・金賞と好成績を残している京都代表ですが、年々、参加選手のレベルは上がっており、今大会も36名(前年比5名増)の代表選手が参加される激戦とな

りました。

競技内容の課題1は、タイルカーベットの掃除機掛けを7分以内、課題2は、塩化ビニール床の清掃を10分以内に行うという内容です。

今大会は、競技内容が一部改正されたことや、各都道府県によって作業方法が異なるところもありましたが、各選手の競技に対する姿勢、努力、技能には、素晴らしい成長ぶりを見ることができ、感動いたしました。

第12回教育実践功績表彰 受賞

平成25年11月25日(月) ホテルルビノ京都堀川



れた証であり、ご本人はもちろんのこと、京都協会にとっても、非常に誇れる受賞だと言えます。

受賞、本当におめでとうございます。

京都市では、優れた教育活動の実践により、当該校の教育活動の充実や、広く教育の振興発展への貢献が認められる教職員の功績を称え表彰する「教育実践功績表彰」を平成14年度より毎年実施しておられ、本年は281名の方が表彰されました。

その受賞者の一人として、当協会の新井孝之氏[(株)ユタカ]がめでたく、表彰をお受けになりました。

このことは、新井氏が長年にわたり、支援学校において、非常勤講師として指導に携わってこられた献身的な努力が認めら

新井孝之氏：(株)ユタカ

KBMA Information [1月から3月の予定]

- 【公益事業委員会】
- 委員会・合同会議
- ・2月4日 運築屋 温
- ビルクリーニング基礎講座・中級
- ・1月9日(第126回)
- 京都府中小企業会館 801会議室
- ・1月16日(第127回)
- 京都府中小企業会館 801会議室
- アビリンピック京都大会出場者練習会
- ・1月15日
- 京都府中小企業会館 801会議室
- ・1月27日
- 京都府中小企業会館 801会議室
- 貯水槽清掃作業従事者研修
- ・1月23日
- 京都府中小企業会館 大ホール
- 清掃作業従事者研修指導者講習
- ・2月4日
- 京都府中小企業会館 802会議室
- 【安全衛生委員会】
- 委員会開催
- ・2月12日 協会事務局 会議室
- 【経営開発委員会】
- 委員会開催
- ・2月7日 協会事務局 会議室
- 第2回経営開発セミナー
- ・2月26日 京都府中小企業会館 806会議室

- 【青年部会】
- 部会開催
- ・2月19日 協会事務局 会議室
- 【広報委員会】
- 委員会開催
- ・2月7日 協会事務局 会議室
- KBMAニュースVol.64(冬号)
- ・2月発行予定
- 【総務厚生委員会】
- 委員会開催
- ・2月18日 協会事務局 会議室

- 《会員入会》
- 【準会員】
- 株式会社 Bigクリーン
- 代表者/堀田真由美 様
- 〒600-8216
- 京都市下京区木津屋橋通新町
- 東入東塩小路町579番地
- スタシオンスエリジェ 506号
- TEL:075-708-6884 FAX:075-741-7566

コラム

3

《仏像について》

● 印相とは？

仏像は手指の形でまるで手話のようにはみずからの意思を表現しています。その手の形を印相といい、印相から尊名が特定できる場合もあります。

● 印相による見分け方

① 施無畏印

② 与願印

③ 求迎印

④ 智拳印

⑤ 阿弥陀定印

⑥ 禅定印(法界定印)

⑦ 说法印(転法輪印)

⑧ 降魔印(触地印)